

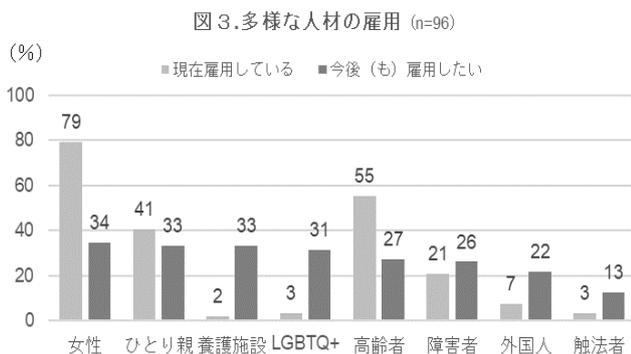
## 熊本県中小企業家同友会 会員一斉アンケート結果（一部抜粋）

今回同友会では、「みつなぎ運動を実践し、未来を拓く中小企業家になろう」を10年ビジョンとし、皆さんが学び、実践するための活動を行っています。このビジョンに向けて、会員一斉アンケートを実施し、その中で障がい者雇用応援について調査した結果について抜粋して報告いたします。

- ・実施期間：2024年3月7日～31日
- ・回答者：同友会員
- ・回答数：96件（回答率13%）

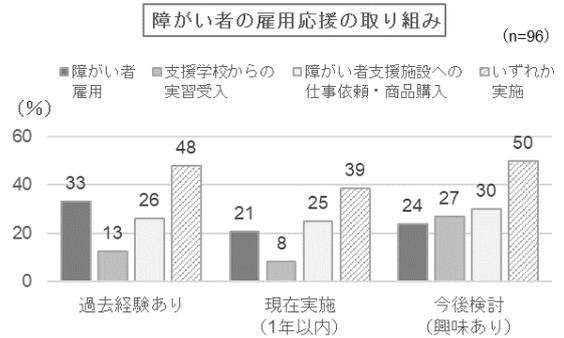
### －調査結果レポート（抜粋）－

#### (1) 多様な人材の採用と活躍



多様な人材のうち、女性やひとり親は現在雇用も今後の雇用意向も高い。また、養護施設出身者やLGBTQ+は現在の雇用率は低いですが、今後の雇用意向は高い。障がい者は21%が現在雇用しており、今後の意向は26%とさらに高く、障がい者雇用への関心の高まりがうかがえる。

#### (2) 障がい者雇用応援の状況



【障がい者雇用】については、33%が経験しており、現在も雇用しているのは21%、今後検討したい（興味のある）と回答したのは24%と高い。アンケートの回答率が低いため、同友会全体の傾向とはいえないが、少なくとも23社は障がい者雇用に意欲的だとわかる。現在、障がい者の法定雇用率は2.5%で、従業員が40名以上の企業で障がい者の雇用義務があるが、今回意欲を示した企業の78%は40名未満の企業であり、法定義務によらず障がい者雇用積極的に会員が多いことがわかる。

【支援学校からの実習受け入れ】は、障がい者雇用に繋がる一歩であるとともに、同友会では障がいのある若者が地域の企業を知り、働く意味を考え、自分の将来を考える貴重な機会となる、地域活動の一つと考えている。実施経験は1割程度だが、今後実施に積極的な会員は27%と雇用よりも高い。

【障がい者支援施設への仕事依頼・商品購入】については、約25%が実施しており、3割が興味ありと回答している。

今回の調査で、障がい者雇用応援に前向きな会員が多くいることがわかった。今後もこの応援が広がる、ダイバーシティ委員会では学びと連携をすすめていきたい。